平成３１年度
大原自治振興会定期総会

（皆様から募集し決定した大原自治振興会のシンボルマークです）

日時：令和元年 5 月 18 日（土）

午後 7 時 30 分～

場所：会議室5

（甲賀大原地域市民センター2 階）

甲賀市市民憲章

わたしたちは「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」を目指して、この憲章を定めます。

あふれる愛（あい）に　　あなたも仲間（なかま）
いろどる山河（さんが）と　　生（い）きいき文化（ぶんか）
こぼれる笑顔（えがお）に　　応（こた）える安心（あんしん）
うみだす活力（かつりょく）　　受（う）けつぐ伝統（でんとう）
かがやく未来（みらい）に　　鹿深（かふか）の夢（ゆめ）を

市民憲章の唱和方法

司会：甲賀市市民憲章
　　わたしたちは「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」を目指して、この憲章を定めます。

司会：あ
全員：あふれる愛（あい）に　あなたも仲間（なかま）
司会：い
全員：いろどる山河（さんが）と　生（い）きいき文化（ぶんか）
司会：こ
全員：こぼれる笑顔（えがお）に　応（こた）える安心（あんしん）
司会：う
全員：うみだす活力（かつりょく）　受（う）けつぐ伝統（でんとう）
司会：か
全員：かがやく未来（みらい）に　鹿深（かふか）の夢（ゆめ）を

平成31年度大原自治振興会
定 期 総 会 次 第

日 時:令和元年 5月18(土) 午後7:30～

場 所:甲賀大原地域市民センター 2階会議室5

1. 開 会

2. 市民憲章の唱和

3. あいさつ

4. 来賓祝辞

5. 資格審査報告

6. 議長の選出

7. 書記、議事録署名人の指名

8. 事務局長・会計責任者の報告

9. 議 事

議案 第1号 平成30年度大原自治振興会事業報告

議案 第2号 平成30年度大原自治振興会収支決算報告

平成30年度会計及び事業の監査報告

議案 第3号 平成31年度大原自治振興会事業計画(案)について

議案 第4号 平成31年度大原自治振興会収支予算(案)について

10. 閉 会

大　原　自　治　振　興　会　規　約

（名称）

第１条　この会の名称は、大原自治振興会（以下「本会」という。）という。

（事務所）

第２条　本会の事務所は、甲賀市甲賀大原地域市民センターに置く。

（目的）

第３条　本会は、大原学区（以下「学区」という。）の住民みずからが学区の将来像を考え、その実現に向けて行動することによって住みよいまちづくりと住人自治の振興に寄与することを目的とする。

（事業）

第４条　本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

（１）　学区の未来づくりのための計画策定及び見直しに関すること。

（２）　人権の尊重、福祉の推進及び健康増進事業に関すること。

（３）　青少年の健全育成に関すること。

（４）　安全安心の住みよいまちづくりに関すること。

（５）　環境の保全に関すること。

（６）　学区基本方針の具現化に関すること。

（７）　広報に関すること。

（８）　その他、目的を達成するために必要なこと。

（組織）

第５条　本会の会員は、学区住民及び本会の目的に賛同する各種団体とする。

２　本会は、年齢、性別や社会的地位等の差別を排除し、会員誰もが平等に参加できるものとする。

３　本会は、会員に参加を促し、合議制による民主的な組織運営を行うものとする。

４　会員は、本会の実施する事業に積極的に参加するものとする。

（役員）

第６条　本会に次の役員をおく。

（１）　会長　１名

（２）　副会長　２名

（３）　区長　１０名

（４）　専門部会長　４名

（５）　プロジェクトリーダー

（６）　監事　２名

（７）　会計責任者　１名
（８）　事務局長　１名
（９）　相談役　１名
（役員の選出）
第７条　役員の選出は、それぞれ次のとおりとする。
（１）　区長は、当該年度の学区内自治区区長をもって充てる。
（２）　専門部会長は、専門部会から選出された者をもって充てる。
（３）　会長、副会長及び監事は、区長、専門部会長及びプロジェクトリーダーが会員の中から選出し、総会で承認を受ける。
（４）　会計責任者、事務局長は、会長が会員の中から委嘱し、総会で報告する。
（５）　相談役は、前会長をもって充てる。
（役員の任務）
第８条　役員の任務は、次のとおりとする。
（１）　会長は、本会を代表し会務を統括する。
（２）　副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
（３）　区長、専門部会長及びプロジェクトリーダーは、本会、専門部会及びプロジェクトの事業を統括する。また、まちづくり計画の精査及び課題の検討、素案の作成を行う。
（４）　監事は、会計、資産の状況及び事業の執行状況を監査し、総会に報告する。
（５）　会計責任者は、本会の会計の事務処理にあたる。
（６）　事務局長は、本会の事務運営及び事務処理にあたる。
（７）　相談役は、必要に応じ助言を行う。
（役員の任期）
第９条　役員の任期は、区長を除き２年とし、再任は妨げない。
２　役員の中で欠員が生じたときは、補欠役員の補充を行うことができる。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。
（選出代議員制）
第１０条　各自治区に代議員を置く。代議員は、各自治区において自治区会員より選出された者をもって構成する。
２　代議員の数は、人口が、３００人未満は３名、３００人以上５００人未満は４名、５００人以上は５名とする。
３　役員は、代議員になることができない。
４　代議員の任期は、２年とし、再任は妨げない。
（会議）

第１１条　本会の会議は、総会、役員会、専門部会、プロジェクト会議及び広報委員会とする。

（総会）

第１２条　総会は、選出代議員制をもって構成する最高の議決機関であって、この規約に定める事項のほか、この会の目的を達成するための必要な重要事項を決議する。

２　定期総会は、会長の招集により毎年１回以上開催する。

３　臨時総会は、会長が必要と認めたとき、又は代議員の２分の１以上の要求があったときは、会長の招集により開催する。

４　総会は、代議員の２分の１以上の出席により成立し、その議事は出席者の過半数で決議する。賛否同数の場合は、議長がこれを決する。

５　総会には次の役員をおく。

（１）　議長　１名

（２）　書記　１名

（３）　議事録署名人　２名

６　議長は、出席代議員の中から会長が指名し、出席代議員の承認により選出する。書記及び議事録署名人は、議長が出席代議員の中から指名する。

７　議長は、総会の議事進行を行う。

８　書記は、総会の議事について、会議の運営状況、発言内容、議事の進行等を記載した議事録を作成し、議長及び議事録署名人２名の署名押印を得なければならない。なお、議事録は事務局が保管管理する。

９　総会は、次の事項を審議する。

（１）　まちづくり計画の策定（案）や見直し（案）の承認

（２）　事業計画及び予算案の承認

（３）　事業報告及び決算に承認

（４）　規約の改正

（５）　総会で提案された事項

（役員会）

第１３条　役員会は、会長、副会長、区長、専門部会長、プロジェクトリーダー、会計責任者及び事務局長をもって構成し、会長が招集し、次の事項を審議し、各専門部会及び各プロジェクトと共に事業を実行する。また、監事及び相談役は必要に応じ役員会に出席して意見を述べることができる。

（１）　本会運営の基本事項

（２）　まちづくり計画の策定及び見直し

（３）　総会に付議する事項

（４）　緊急を要する重要事項
（５）　予算の軽微な変更
（６）　その他の必要な事項
２　役員会の議長は、会長が行い、その議事録の作成は事務局長が行う。なお、議事録は、議長及び作成者が署名押印し、事務局が保管管理する。
（専門部会）
第１４条　専門部会は、学区内の自治区及び各種団体から選出された委員をもって構成し、部会員の互選により部会長１名と副部会長１名を選出する。
２　専門部会は、部会長が招集し、事業の企画、調整、運営及び事業の執行を行う。
３　専門部会は、次のとおりとする。
（１）　健康福祉部会
（２）　地域振興部会
（３）　生活環境部会
（４）　教育文化部会
４　専門部会員の任期は２年とし、再任は妨げない。
（プロジェクトチーム）
第１５条　まちづくり等に関する諸案件に即応するプロジェクトチームを必要に応じて設置することができる。
２　チームメンバーは会員より公募し、会長が任命する。
３　チームには、リーダー１名とサブリーダー１名を、メンバーの互選により選出する。
４　チームメンバーの任期は、各プロジェクト終了までとする。
（広報委員会）
第１６条　広報委員は、会長が会員の中から４名を委嘱し、委員の互選により、委員長１名と副委員長１名を選出する。
２　広報委員会は、会員に広く周知するため広報紙等を発行する。
３　広報委員会の任期は２年とし、再任は妨げない。
（会計）
第１７条　本会の経費は、交付金、補助金、寄付金及びその他に収入をもってあてる。
（会計年度）
第１８条　本会の会計年度は、４月１日に始まり翌年３月３１日に終わる。
（情報等の公開広報）
第１９条　本会の会議等は、公開を原則とし、事業計画、事業報告及び予算決算等について会員に広く周知するものとする。

（その他）
第２０条　この規約に定めるもののほか、必要な事項は会長が総会に諮り別に定める。

付　則
この規約は、平成２３年６月２５日より施行する。

付　則
この規約は、平成２４年１２月１５日より施行する。

付　則
第１条　自治振興委員及び専門部会員の交互改選を行うため、平成２７年度に限り別紙１のとおり、任期を１年とする。
この規約は、平成２７年４月１日より施行する。

付　則
この規約は、平成２７年６月７日より施行する。
（第１５条　プロジェクトチームの追加）

付　則
第１条　大原自治振興会員の旅費に関する規程を別表２のとおり定める。
この規約は、平成２８年５月２１日より施行する。

付　則
この規約は、平成２９年４月１日より施行する。
（自治振興委員の削除、代議員の人数の変更、旅費規程一部改訂）

付　則
第１条　大原自治振興会員の旅費に関する規程を別表２のとおり改める。
（５の役員、部会委員等への費用弁償の年額の項目を削除）
第２条　役員手当等支給基準を別表３のとおり定める。
この規約は、平成３１年４月１日より施行する。

（別表３）

役員手当等支給基準

１．手当

役　職　名	金　　額　（年額）
会　長	３０，０００円
副会長	２０，０００円
事務局長	５０，０００円
会計責任者	３０，０００円
相談役	５，０００円
監　事	３，０００円

２．費用弁償

役　職　名	金　　額　（年額）
部会長 プロジェクトリーダー	５，０００円
副部会長 プロジェクト副リーダー	４，０００円
部会委員 プロジェクトメンバー	３，０００円

３．支給基準について

　役職等を兼務している者は、何れか支給金額の多い役職等の金額を支給し、重複しての支給はしない。

（別表２）

○大原自治振興会員の旅費に関する規程

１．この規程は、大原自治振興会員が自治振興会の公務遂行のための会議及び研修会等に出席するための旅費に関し必要な事項を定めるものとする。

２．町外への会議及び研修会等に出席する場合、自家用自動車を使用するときは、１キロメートルにつき１３円として計算する。

３．公共交通機関等を利用する場合はその実費とする。

４．尚、上記費用発生する場合は、事前に会長の承認を得るものとする。

５．この規定に定めるもののほか必要な事項は、会長の承認を得るものとする。

議案 第１号

平成 30 年度 大原自治振興会事業報告

健康福祉部会

評価 3＝計画通り達成 2＝一部未達成／課題あり 1＝課題多い　　数値目標がある場合は、実数値または%

実施項目（実施日）	評価	成果／問題点	改善・対策案	次年度計画
サロンスタッフ研修会 6 月 30 日（土）開催	3	参加者が 40 名と少なかった。小学校の行事と重なった。 カフェサロンは自然なおしゃべりの場で良かった。 ワークショップの時間がもう少しほしかった。	ご案内状を直接サロン代表者に提出出来ないか検討。 参加者が少なかったので、検討要。	（継続） ワークショップの次の課題の解決策を検討。 1）送迎の問題 2）スタッフが増えない 3）スタッフも利用者も男性がかなり少ない
健康講座「姿勢と健康」 1 回目 10/17（水） 2 回目 10/31（水） 3 回目 11/14（水）	3	・目からウロコの姿勢と健康 「健康は正しい姿勢から」をテーマに3連続講座を開催。平均 50 名以上の参加。 ・姿勢健康チェック 大変熱心に受講され反響も良かった。 ・診断の解説と予防法 3連続講座で部員、受講者共大変であったが、実施して良かった。	区民の健康の為にどんな講座をすべきかをアンアケート調査を行った。	（継続） アンケート結果より健康講座として次の講座を検討する。 ・身近な食品の撮り方で健康に ・認知症の早期発見と早期治療 ・糖尿病予防について ・治療とリハビリについて
100 万歩運動 9/1～12/31 までの 4 ヶ月間	3	「歩くことは健康の源」をスローガンとして 4 ヶ月で 100 万歩を達成出来るように、1 日 8,500 を目標に！！とした。参加者は、64 名。	参加者が思ったほど多くなかったので、検討要。	（継続） 健康作り講座と連動して、年に数回のウォーキング講座としてシリーズ化してもよい。
落語会開催 11/23（金）勤労感謝日	3	「笑って健康・笑えて幸せ」 里山かむら交流館で開催。 参加者 147 名	今回は準備、チケットの販売等で、大変苦労した。参加者に大変好評であった。 ・本部の協力がもう少しほしかった。 ・部でする行事には荷が重すぎた。	毎年は大変なので、2～3 年に 1 度開催くらいでどうか。
大原歴史探訪 ウオーキング 11/10（土）	3	地域振興部の協賛事業。 ・クイズ作りと景品買いに 1 日と大変。 ・計画は大変であるが、参加者には大好評であった。 参加者 47 名（ガイドの藤村さん含む）	より多くの人に参加してもらうために、区行事との重なりと開催日の配慮が必要。	（継続） 当初は、他自治振興会との共催も視野に入れ検討を行なった。共催とすることで、予算的面でも、より多くの方に興味を持ってもらえる内容で実施できる可能性がある。

＊区行事でできる事業は自治会で重複を避ける配慮が必要。高齢者ばかりの事業ではなく小学生や保育園児親子を対象または取り込んだ事業は、スポ少等の行事を配慮が必須。

生活環境部会

評価　3＝計画通り達成　2＝一部未達成／課題あり　1＝課題多い　　数値目標がある場合は、実数値または%

実施項目（実施日）	評価	成果／問題点	改善・対策案	次年度計画
防犯灯維持管理事業	3	・防犯灯の LED への交換 各区2基又は新規1基 （実績） ・防犯灯取替工事 16 ヶ所 ・関西電力引込工事4ヶ所	施工業者の（株）清水コンテック様が要望された区の現況調査で、電力の引込工事が必要な LED が4基あった。	（継続） 交換が終わっている区もあり、今後は、新規の要望を増やすことも必要。
花いっぱい事業 7月1日 11月27日・28日	3	・「21世紀の会」と共に甲賀駅北口花壇に マリーゴールド 300 本 ベチュニア 500 本 を植栽。 ・葉ボタン 300 株を各区に配布。	・葉ボタンの配布は、一律でなく、各区の要望を聞いた。 ・各区の必要数量が異なるが、全区から要望があった。	（継続） 花いっぱい事業は、地元の甲南高校へ発注を行っているため、地域振興にもつながる事業である。
生活道路の安全事業 10 月21日	1	・横断歩道や停止線など、既存の白線が消えていたりする箇所を点検。 ・市の所管部署に改善要望書を提出。 ・農道（高野～相模～大原中）の「止まれ」の点滅機が故障のため標識を貼付した。	・事故の多い危険個所に看板の設置は、道路管理者や土地所有者などとの交渉が難しいと思われる。 ・関連地域の区長さんに要望を聞くべきであった。	（継続） この事業の決定的な解決案が出なかった。 今後、事故を減らすために議論を継続。
飛び出し忍者設置 7月18日	3	・看板を各区の PTA に設置していただいた。 ・自治振興会は看板30枚のうち10枚を負担	自治振興会に老朽化や破損している看板が多いとの要望があり、PTA や学校にその内容を連絡した。	（継続） 新規の看板設置よりも、老朽化や破損した看板の取替に重点を置き、PTA の役員の方と協働で事業を進めること。

地域振興部会

評価　3＝計画通り達成　2＝一部未達成／課題あり　1＝課題多い　　数値目標がある場合は、実数値または%

実施項目（実施日）	評価	成果／問題点	改善・対策案	次年度計画
上下流交流事業 7 月29日 （交流会での食事の提供）	1	・台風で中止。 事前の打合せ等が上手く進んでいただけに残念でした。	7月中旬から災害級の暑さを経験。屋外での暑さ対策を見直す事も必要。	（継続） 交流会での食事の提供 7月末の日曜日予定
観光推進事業 ・観光マップ制作 （9/15） ・甲賀駅活用事業 （8/5～8/24 まで）	2	・大原の歴史、文化を訪ね歩く、観光ルートマップ制作。大原の観光4ルート選定と飲食店さんの紹介はできたが、ルート上の解説ができなかった ・甲賀駅のコンコースを利用して、エコ風鈴を掲示。（大原市場子ども会協力） 3週間の掲示でしたが、駅を利用される方に涼気や甲賀駅の活性化につながったと思います。	・観光マップの配布先、甲賀駅，各施設，飲食店の協力のもとで継続的な配布活動ができるか。 ・掲示期間中のメンテナンスも重要。 7月の大原祇園のアピールも出来ないか検討。	（継続） マップ配布活動（年2回）夏ごろと3月末ごろ 外国人観光客向けの英語版作成 エコ風鈴を飾ろう（7月から8月ごろ）　神子供会に依頼
里山地域景観整備事業 ・櫟野（9/23） ・大原上田（11/4） 地域景観整備事業	2	・滝川城跡、櫟野大原城跡の整備 「地域の史跡は地域が守る」のスローガンで、櫟野寺の大開帳に合わせた整備もでき、ウォーキングでも史跡を紹介しました。 （櫟野区） ・集落に隣接する里山の除草と竹の伐採 竹の処理が大変で、毎年エリアを変えながら作業をし、里山と生活圏を守る活動ができた。 （大原上田区） ・観光スポット環境美化 （応募なし） （櫟野ダム周辺整備を含む）	特に案内板がある史跡等は、継続的な活動が必要です。 整備ボランティアが集まらない。	（継続） 里山地域景観整備事業 5月各区に応募用紙配布 （2地区） その他、全国植樹祭に向けて新規事業の検討が必要。 2019 年は、愛知県豊橋市
大原ふるさと再発見事業 （11/10）	2	櫟野寺の御開帳に合わせたウォーキングルートで、櫟野区、大原中区を巡りました。 特に住職・ガイドからの説明と櫟野大原城跡は良かった、と言う声をいただきました。	参加人数の減少。 （今年 45 人・昨年 47 人） 大原だけのルート選定は困難になってきた。	（継続） 行先とコース設定決定 80人の募集で続けてきたが50人くらいが昼食の場所など行動しやすい。 ルート案は選定しました。
文化財整備事業 （案内板発注 1/21） （案内板設置 2/21）	2	高野区の旗本　堀田氏ゆかりの陣屋跡・稲荷社に案内板を設置	2ヶ月間の応募期間を要しましたが、1件の応募のみでした。	（継続） 文化財整備事業 9月各区に応募用紙配布 （1地区）

教育文化部会

評価　3＝計画通り達成　2＝一部未達成／課題あり　1＝課題多い　　数値目標がある場合は、実数値または%

実施項目（実施日）	評価	成果／問題点	改善・対策案	次年度計画
親子人権研修会 大原小学校 6 月 27 日（水）	3	テーマ「メディアとじょうずにつきあおう」 講師　吉田昌孝氏 インターネット、ゲーム、スマホ等身近な事から問題点についてわかりやすく説明していただけた。	費用分担について	（継続） 市、町人権協との連携が必要
忍者体験ツアー 生涯学習館 忍術村 10 月 20 日（土）	3	甲西高校書道パフォーマンス（15 名） 子供書道体験 忍術村にて忍者体験 小学生の参加が少なかった。 書道パフォーマンスについては、高校生の親などの見学者が見られた。 書道、忍術村とも十分に体験できた。	参加者を増やすにはどうするか。	（継続） 児童、親、一般グループ 書道依頼甲西、水口高校
大原を知る。 6 月 16 日（土）	2	教育文化委員対象 大原について 観光協会　高田信男氏 教育文化委員に大原を知ってもらえた。 （神社、祭、大原ダム等）	市歴史文化財課の職員と日程が取れなかった	（継続） 大原の冊子を活用する
大原小学校自然体験学習 2月28日（木）	2	午前　6年　記念植樹 午後　4年　椎茸植菌 6年生記念品 ヒノキ材を使って卒業制作	歴史があり、自然体験通じて学ぶことは児童・PTAにとっても重要	引き続き支援が必要
おおはら名人発掘事業	1	ゆうゆうクラブの協力を得て名人帖の作成。小学校に紹介する	深く掘りこめなかった	
大原ふるさと再発見事業	1	冊子での学習は本年度実施しない 市歴史文化財課による研修（年4回）		
青少年育成会支援取り組み	1	事業の共催・支援		新年度育成会長と調整必要

見守りプロジェクト

評価　3＝計画通り達成　2＝一部未達成／課題あり　1＝課題多い　　数値目標がある場合は、実数値または%

実施項目（実施日）	評価	成果／問題点	改善・対策案
命のバトンの拡張	2	全戸配布の区が 2 区増え、合わせて 5 区が全戸配布となった。 区によって数の格差があり、区長の関心にも格差があるが、徐々にではあるが浸透して来ている様に思われる。	バトンを配布するだけでなく、メンテナンスを確実にしていく事が課題。
モデル地区の拡大 （命のバトンの募集と同時に募集）	2	自ら手を挙げてもらう様にしたが、無かった。 相模、大原上田は区長より命のバトンの全戸配布の申し出があり、そこから出発になった。	各区とも見守りの必要性は理解されてきているが、どうしたら良いの分からないのではないか
「スマイル甲賀」 自治区に加入していない市民の居場所(高齢者、子ども)	3	市営住宅集会所の使用の許可が下り、10 月より高齢者のサロン、11 月より子ども食堂を兼ねたサロンを月１回開催	大原中、南地域の自治会未加入者を対象に始めた取り組みであるが、順調に進んできている。 他の区や、外国籍の人も交流できる場所にしていきたい
先進地視察 高島市 NPO 法人　元気な仲間 朽木外出サポート隊 （９月１１日）	3	４０名参加 社協、地域包括も参加 民生委員、区長も参加があった。	後日、勉強会が開催されたが、後に続いていく事が大事である。研修だけで終わらない様にしていくこと。
先進地研修会 NPO 法人　ゆいの里 （２月１１日）	3	伊賀市より来ていただき、「お買物無料送迎バス事業」の紹介と事業内容の説明を聞いた。	次年度に取り組みを進めて行きたい

若者プロジェクト

評価　3＝計画通り達成　2＝一部未達成／課題あり　1＝課題多い　　数値目標がある場合は、実数値または%

総合評価:2

実施日	事業内容	反　省	課　題
4月8日(日)	場所:かふか夢の森 内容:「桜マルシェ」 婚活を同時開催予定をしていたが男性は集まったが女性の申込が無く中止となった イベント:吉澤さんのギターと歌	・かふかの森の桜は葉桜となり残念 ・婚活についてはもっと早くから呼び込みの必要があったのでは。	・尚、女性の方が集まりたくなるような企画が必要だったのかも
5 月 13 日(日)	場所:かふか生涯学習館 内容:「母の日マルシェ」 母の日のプレゼントとしてお母さんにポット花苗をプレゼント イベント: ①　日本よし笛の会さんによる演奏 ②　”やすりん”福永康子さんの弾き語り	・夢の森での開催予定であったが、雨のため館内で開催 ・よし笛の演奏が好評であった ・花苗のプレゼント大変喜んでいただいた	・プレゼントをもらいに来るだけの人もいたのではないか
6 月 10 日(日)	場所:甲賀駅南口とマイスター館 内容:「父の日マルシェ」 お父さんにいろんなプレゼント用意 イベント: ①　磯部宏太さんによるキレキレダンス ②　村山さん他 2 名によるギター＆ボーカル	・こうか駅北口開催を予定していたが、雨が予想されたので南口とマイスター館の利用となったが、かなり古いため掃除に大変時間がかかった。 ・悪天候で子どもさんが少なかったので、お年寄りにも綿菓子を食べていただいた。(懐かしく大変喜んでいただいた)	・会場が 3 か所と分散してしまうので問題 ・マイスター館は耐震の問題上今後の使用はどうか？
7 月 8 日(日)	場所:かふか夢の森 内容:「夕涼みマルシェ」 子どもさんに無料の綿菓子やスーパーボールすくい イベント: 掛田さんによるギター演奏と歌	・夕涼みということで、提灯を準備していたが、吊る場所の計画などが出来ていなかった。 ・提灯の数も多く電気容量や引き込みの場所等問題	・準備段階で担当を決め責任をもって計画をする ・木の駅の発電機は借用しているが、マルシェでも発電機は必要？
8 月 5 日(日)	場所:かふか夢の森 内容:「ござれGOーSHUマルシェ} 8 月は開催予定になかったが、急遽ござれからの依頼により開催 本部で「スーパーボースすくい」と「飲物抽選販売」	・急な開催ということもありスタッフ集めに苦労した ・アルコールの店舗を振興会のマルシェに入れるのは問題であったか？ ・マルシェ店舗の証明が不十分であった	
9 月 9 日(日)	場所:かふか生涯学習館 内容:「2 周年記念マルシェ」 本部で無料綿菓子、スーパーボールすくい、カレー販売	・雨が予想されたので急遽館内で開催 ・ドローンの安本さんとの打ち合わせが不十分であった ・ドローンの映像も短時間であり残念で	・スタッフが少ない ・イベントの打ち合わせは確実に

実施日	事業内容	反 省	課 題
	プレゼント抽選会開催・・・マルシェ店舗の商品や商品券 イベント: ① やすりん＆えいこうさんのギター＆ボーカル ② 安本さんのドローン操作体験と映像	あった	
10 月 14 日（日）	場所:かふか夢の森 内容:「バリアフリーマルシェ」 ひゅうまん鹿深さんと共催 子どもさんにハロウィンイベントと無料のポップコーン イベント: ひゆーまんさん主導	・ひゅーまんさんの人出が少なく、バリアフリー体験などが上手くいっていなかった ・よっこさんの歌など、ひゅーまんさんのイベントは大変良かった ・ボラ連もバリアフリーマルシェに参加したが、バリアフリー体験が出来ていなく。主導してくれる人がいなかった。	・マルシェ側との打ち合わせが少なかった ・同時開催の場合は打ち合わせが肝心
11 月 11 日（日）	場所:甲賀駅北口広場 内容:「こうか駅前マルシェ」 戻って来ました甲賀駅前に無料綿菓子 イベント: ① 愛甲さんによる「マジックショー」 ② 廃油で石鹸の手作り体験	・各所で大きなイベントが多く集客は見込めないと思っていたがまあまあ多かった ・廃油石鹸の準備は大変であったが、予定通りの参加者があった ・擽野寺さんのマルシェと出店において少しもめた	・スタッフが多いと・・・ ・市の対応に問題があったように思う
12 月 9 日（日）	場所:かふか生涯学習館 内容:「クリスマスマルシェ」 社協主催障害者のつどいと同時開催 イベント: ① やすりんさんのギター＆ボーカル ② 水口笑い隊のみなさんによる寸劇 ③ 社協さん主催のもちつきや体験コーナーに参加	・水口笑い隊のみなさんは数日前にもＴＶで放映され人気があり住民の皆さんの憩いの場となった ・障碍者のつどいとの同時開催でもあり、スタッフも含め多くのお客様であった ・社協さん主催のもちの振る舞いにも、一部であったが参加出来、親子連れにも人気であった	・笑い隊さん、よかった。 ・やすりんさんの美しいボーカルが、場を清よませてくれた ・同時開催の障害者とのつどいが出来ればよかった
3 月10日（日）	場所:かふか生涯学習館 内容:まなび体験フェスタマルシェ	・まなび体験フェスタとの同時開催により、イベントは計画しなくて良い分、スタッフとしては少し楽。 ・障害学習館側からも、盛り上がり大変有難い。次年度も同様に開催したいとの要望あり ・「いつも楽しみに嫁に連れてきてもらいます」との声あり、スタッフの苦労も少し和らぐ	・このような機会が増え、楽しい集いの場が定着すればよい ・手伝いのメンバーでなく、PJのメンバー確保が重要

防災プロジェクト

評価　3＝計画通り達成　2＝一部未達成／課題あり　1＝課題多い　　数値目標がある場合は、実数値または%

実施項目(実施日)	評価	成　果	講　師
家庭内DIG研修 ６月１８日（月） ８月　７日（火） ９月　９日（日） ９月１５日（土） ９月２６日（水） １０月　７日（日） １１月２０日（火）	3	櫟野区　参加者　３５人＋　８人（防災PJ） 拝坂区　参加者　４０人＋　８人（防災PJ） 大原市場区　参加者　８８人＋１０人(防災PJ) 高野区　参加者　２６人＋　７人(防災PJ) すこやか荘　防災訓練 大原中区　参加者　３６人＋　８人(防災PJ) 神区　参加者　１５人＋　２人(防災PJ)	
防災研修講演 ８月１９日（日）	3	相模区　参加者　８８人＋　７人(防災PJ)	
防災講座 ２月　９日（土） ２月１６日（土） ２月２３日（土）	3	共　催：佐山及び油日自治振興会共催 協　力：甲賀市防災士連絡協議会甲賀地域会 内　容：自主防災先進地講師による講演とワークショップ、現地フィルードワーク 参加者: 述べ140人 ・自主防災と避難支援 ・避難所の運営 ・自主防災避難マニュアル ・昼食（弁当） ・DIG、現地フィールドワークで地域の避難経路確認	中島仁史氏(土山町あずま自主防災会事務局長、滋賀県地域防災アドバイザー) 井岡仁志氏(ローカリズム･ラボ代表、社会福祉士) 大原自治振興会 防災プロジェクトチーム 甲賀町防災士
防災講座 ３月２日	3	共　催：甲賀市ボランティア連絡協議会 甲賀支部 内　容：野島断層からのメッセイジ 参加者：１２０名	阪神淡路震災語りべ 米山正幸氏
防災マニュアルの作成	1	次年度に完成、広報に向けた検討を実施	

まちづくりプロジェクト

評価　3＝計画通り達成　2＝一部未達成／課題あり　1＝課題多い　　数値目標がある場合は、実数値または%

実施項目（実施日）	評価	成果／問題点	改善・対策案
各部会・プロジェクトチームの活動報告会＆懇親会(6/9、2/9)	3	・各部会やPJ間の交流が促進できた。また２月に実施する方が部員も変更がなくてよい。但し、参加者を増やす必要がある。	・自治振興会だけでなく、連携団体も含めた活動報告会＆懇親会に拡大する。
空き家対策出前講座	1	防災・見守り・交通弱者対策の円卓会議運営があれば毎月あり、空き家対策に取り掛かかれずであった。	・移住促進とセットで再考する（区の意向調査、事例調査、市の動向など）。
市長懇談会(11/21)	3	・市との協働取組の成果と課題を伝え、改善策について意見交換ができ、意義のあるものであった。	・毎年 1 回は市長との懇談会を継続して、市との協働取組の成果と課題を伝え、改善策について意見交換を行う。
区長との意見交換会(4/3)	3	・年度当初に、自治振興会活動の説明会を説明することは、意義のあるものであった。	・継続的に区長に自治振興会の活動を伝達することが必要である。
見守り円卓会議(5/16、8/8、1/19)	3	・円卓会議をきっかけに協働の取組が展開できた。	・区での検討を促進する対策が必要である。
防災円卓会議(4/16、7/5、12/13)	3	・円卓会議をきっかけに協働の取組が展開できた。	・区での検討を促進する対策が必要である。今後は協働すべき避難所の運営検討に移行する。
交通弱者対策円卓会議(6/12、9/14、3/12)	3	現在の体制での課題の抽出、来年度の行動方針まで意見交換ができ成果はあった。	・買い物ツアーの実施に向けた検討。
各区との意見交換会	1	・防災マニュアルの完成のタイミングで実施予定であったが、マニュアルの完成が次年度となり延期となった。	・次年度は区と連携して参加者を増やす工夫をする
まちづくりPJ会議(11回開催)	―	・さまざまなこと企画でき成果はあった。	・メンバーの拡充が課題。

議案　第2号

平成30年度 大原自治振興会決算

収入の部　　単位　円

款	項	目	節	当初予算額	補正額	計	3月31日	比　較	説　　明
市交付金				8,076,000	0	8,076,000	8,076,000	0	
	基礎交付金	基礎交付金	基礎交付金	1,587,000	0	1,587,000	1,587,000	0	
	区活動交付金	区活動交付金	区活動交付金	2,482,000	0	2,482,000	2,482,000	0	
	事務加算金	事務加算金	事務加算金	956,000	0	956,000	956,000	0	
	事業加算金	事業加算金	事業加算金	3,051,000	0	**3,051,000**	3,051,000	0	
繰入金				0	0	0	0	0	平成29度積立金
繰越金	前年度繰越金	前年度繰越金	前年度繰越金	637,000	0	637,000	637,118	118	
諸収入				151,000	0	151,000	241,295	90,295	
	預金利子	預金利子	預金利子	1,000		1,000	17	△ 983	
	雑入	雑入	雑入	150,000		150,000	241,278	91,278	忍者体験　ウォーキング　落語会、防災講座
	助成金等	助成金等	助成金等	0		0	0	0	
収　入　合　計				8,864,000	0	8,864,000	8,954,413	90,413	

支出の部

款	項	目	節	当初予算額	補正額	計	3月31日	比　較	説　　明
総務費	一般管理費	一般管理費		1,520,000	△ 400,000	1,120,000	930,707	189,293	
			賃金	700,000		700,000	574,835	125,165	事務員賃金
			報償費	10,000		10,000	2,160	7,840	監査事務
			旅費	300,000	△ 250,000	50,000	47,000	3,000	本部費用弁償
			需用費	300,000	△ 100,000	200,000	173,592	26,408	消耗品費　飲料
			役務費	160,000	△ 50,000	110,000	86,616	23,384	あいコムこうか　切手　HP管理
			工事費	0		0	0	0	
			備品購入費	50,000		50,000	46,504	3,496	掃除機　ホワイトボードプリンター
			積立金	0		0		0	
事業費				3,275,000	400,000	3,675,000	**3,302,122**	372,878	
	一般管理費	一般管理費		550,000	400,000	950,000	899,958	50,042	
			旅費	30,000	250,000	280,000	264,971	15,029	部員費用弁償　研修　出張　防災士養成講座
			需用費	250,000	100,000	350,000	337,790	12,210	コピー用紙　インク　部会等会議飲料
			役務費	100,000	50,000	150,000	131,954	18,046	振込手数料　部会等通知ハガキ
			備品購入費	170,000		170,000	165,243	4,757	アンプ
	広報費	広報費		350,000	0	350,000	279,769	70,231	
			需用費	350,000		350,000	279,769	70,231	広報誌4回発行
	部会活動事業費	**部会活動事業費**		1,755,000	△ 60,000	1,695,000	1,492,731	202,269	
		健康福祉部会活動費		400,000		400,000	396,309	3,691	百万歩　サロン研修　健康講座　落語会
		地域振興部会活動費		430,000		430,000	365,820	64,180	歴史探訪ウォーキング　里山整備　史跡看板
		生活環境部会活動費		570,000		570,000	561,106	8,894	LED化　飛出し人形　駅花壇植替
		教育文化部会活動費		355,000	△ 60,000	295,000	169,496	125,504	大原小人権学習　忍者体験　小学生自然学習
	プロジェクト事業費	**プロジェクト事業費**		540,000	0	540,000	492,363	47,637	
		まちづくりプロジェクト		50,000	10,000	60,000	50,478	9,522	アンケート調査　活動報告会　円卓会議
		見守りプロジェクト		140,000	20,000	160,000	150,079	9,921	命のバトン　研修会　「スマイル甲賀」電気代等
		若者プロジェクト		300,000	△ 50,000	250,000	229,054	20,946	マルシェ
		防災プロジェクト		50,000	20,000	70,000	62,752	7,248	DIG説明会諸費　震災語り部講師料
	まちづくり研修	**まちづくり研修**		80,000	60,000	140,000	137,301	2,699	防災講座3回
			報償費	50,000	30,000	80,000	77,959	2,041	講師料
			需用費	30,000	30,000	60,000	59,342	658	資料印刷
			使用料及び賃借料	0		0		0	
振興費	区活動振興交付金			1,587,000	0	1,587,000	1,587,000	0	
		敬老会事業交付金	負担金及び交付金	1,206,000	0	1,206,000	1,206,000	0	
		環境整備交付金	負担金及び交付金	381,000	0	381,000	381,000	0	
区活動費	区活動事業交付金	区活動事業交付金	負担金及び交付金	2,482,000	0	2,482,000	2,482,000	0	
支　出　合　計				8,864,000	0	8,864,000	8,301,829	562,171	通帳残高
									652,584

（収入）８，954，413ー（支出）８，301，829　＝　652，584（次期繰越金）

事業加算金　3，051，000+雑入の内事業費に加算すべき額　223，500ー事業費　3，302，122＝△27，622

監　査　報　告　書

大原自治振興会歳入歳出決算

歳入合計　　８，９５４，４１３円

歳出合計　　８，３０１，８２９円

差引残高　　６５２，５８４円

残高内訳

翌年度繰越金　６５２，５８４円

市返戻金　　０円

平成３１年４月１２日大原自治振興会事務室で、平成３０年度の歳入歳出決算及び事業執行状況について、関係諸帳簿と証拠書類とを対照し、詳細に監査した結果、適正且つ正確に処理されていることを認めました。

平成３１年４月１２日

監査委員　堀口弘志　㊞

監査委員　西田武史　㊞

議案第３号

平成31年度　大原自治振興会事業計画（案）

健康福祉部会

単位：千円

事　業　名	事　業　内　容	予算
1. サロンスタッフ研修会	サロンスタッフ交流会　6 月 29 日	20
2. 健康講座	スポーツ又は講演会　9 月～10 月	80
3. 100万歩運動	1 日 8500 歩を目指して　9 月1日～12 月 31 日	60
4. 救急救命講座	救急救命に関する講習会又は講演会　10 月～11 月	20
5. 大原ふるさと再発見	歴史探訪ウォーキング　11 月上旬（地域振興・教育文化部会との共同事業）	20

生活環境部会

事　業　名	事　業　内　容	予算
1. 防犯灯維持管理	・防犯灯のLEDへの交換　各区 2 基、または新規 1 基	280
2. 花いっぱい	・夏に咲く花 800 株甲賀駅北ロータリー植込み(7 月) ・葉牡丹紅白等の冬花を各区に支給(11 月) ・春に咲く花 800 株　甲賀駅北口ロータリー植込み(2 月)	180
3. 生活道路の安全	・生活上の安全確保のための対応。	100
4. 飛び出し忍者設置	・飛び出し忍者各区 1 枚配布、 各区PTA設置	60
5. 防火水槽位置表示	・他所の消防団員に防火水槽の位置が容易に分かる表示板等の調査。	10

地域振興部会

事　業　名	事　業　内　容	予算
1. 大原ふるさと再発見	・歴史探訪、文化、産業、観光などのスポットを訪ね歩く　11 月上旬	80
2. 文化財整備事業	・地域の史跡を案内する看板の設置（1か所）　令和2年1月～3月	60
3. 里山・地域景観整備	・公共性のある里山整備　　各区の希望による ・観光スポットの環境美化　　各区の希望による	60 60
4. 上下流地域交流	・下流域住民の理解と関心を森づくり体験を通じて交流（愛林クラブとの共催） 7月28日	40
5. 観光推進	・大原観光スポットとルート及びホタルマップの増刷配布　7月中旬 ・甲賀駅での観光スポット展示等の検討　8月	80 20
6. その他	・地域の古地図情報収集と活用の検討 ・2021年春全国植樹祭（鹿深夢の森）	0

教育文化部会

事　業　名	事　業　内　容	予算
1. 小学校人権研修会	講演後の地区懇のテーマに入れる。6 月 25 日（火）	30
2. 忍者体験学習	児童と親子グループ・一般グループに編成して実施。	180
3. 大原小学校自然体験学習	植林活動、マイクロバス、ヒノキ材を使って卒業記念製作、シイタケ植菌活動	100
4. おおはら親子教室	親子及び地域との交流を図る事業	30
5. 大原ふるさと再発見	歴史探訪ウォーキング　11 月上旬（地域振興・健康福祉部会との共同事業）	0

単位：千円

見守りプロジェクト

事　業　名	事　業　内　容	予算
1. 命のバトンの拡張	30年度からの継続、メンテナンスも含め、もっと広げていく。	50
2. 見守り・買物支援	買物支援モデル地区の依頼 各区を回り、先進区の現状と見守りの必要性を説明。	0
3. 研修会	先進地への視察、仕組みづくりの勉強会	30
4.「スマイル甲賀」活動・運営	・自治会非加入高齢者の見守りサロン「スマイル甲賀」 ・大原学区の子ども食堂「スマイル甲賀」大原っ子 ・外国籍の方との交流	90

防災プロジェクト

事　業　名	事　業　内　容	予算
1. 定例会議	毎月1回開催　活動内容の確認他	0
2. HUG研修	プロジェクト内で訓練実施後、学区内で訓練実施	80
3. 防災マニュアル	防災マニュアルの印刷（1000部程）	100

若者プロジェクト

事　業　名	事　業　内　容	予算
1. 婚活	先進地から活動ポイントを学ぶ	300
2. 甲賀マルシェ	持続可能にするために他組織との協働、やり方の見直し等を行いながら継続	

まちづくりプロジェクト

事　業　名	事　業　内　容	予算
1. 大原まちづくり活動報告会 ＆懇親会	自治振興会＆連携団体の活動報告会（2月頃）	100
2. 市長懇談会	協働まちづくりの成果と今後の取組について懇話会（9 月頃）	
3. 区長との意見交換会	自治振興会の活動について意見交換会（4 月頃）	
4. 協働まちづくり円卓会議 （毎月1回程度）	①見守り円卓会議　協働の取組について検討	
	②防災円卓会議　協働の取組について検討	
	③交通弱者円卓会議　買い物ツアーを検討	
5. 推進体制の改善	勉強会を開催しながら推進体制の改善方法を 10 月頃までに検討	

まちづくり研修

事　業　名	事　業　内　容	予算
まちづくり研修	自治振興会の優先すべき重要テーマについて研修会を開催	80

広報委員会

事　業　名	事　業　内　容	予算
広報誌の発行と事業報告	広報誌おおはら　年４回 大原学区の各区へのマンスリーレポートによる事業報告	300

議案 第4号

平成31年度 大原自治振興会収支予算(案)

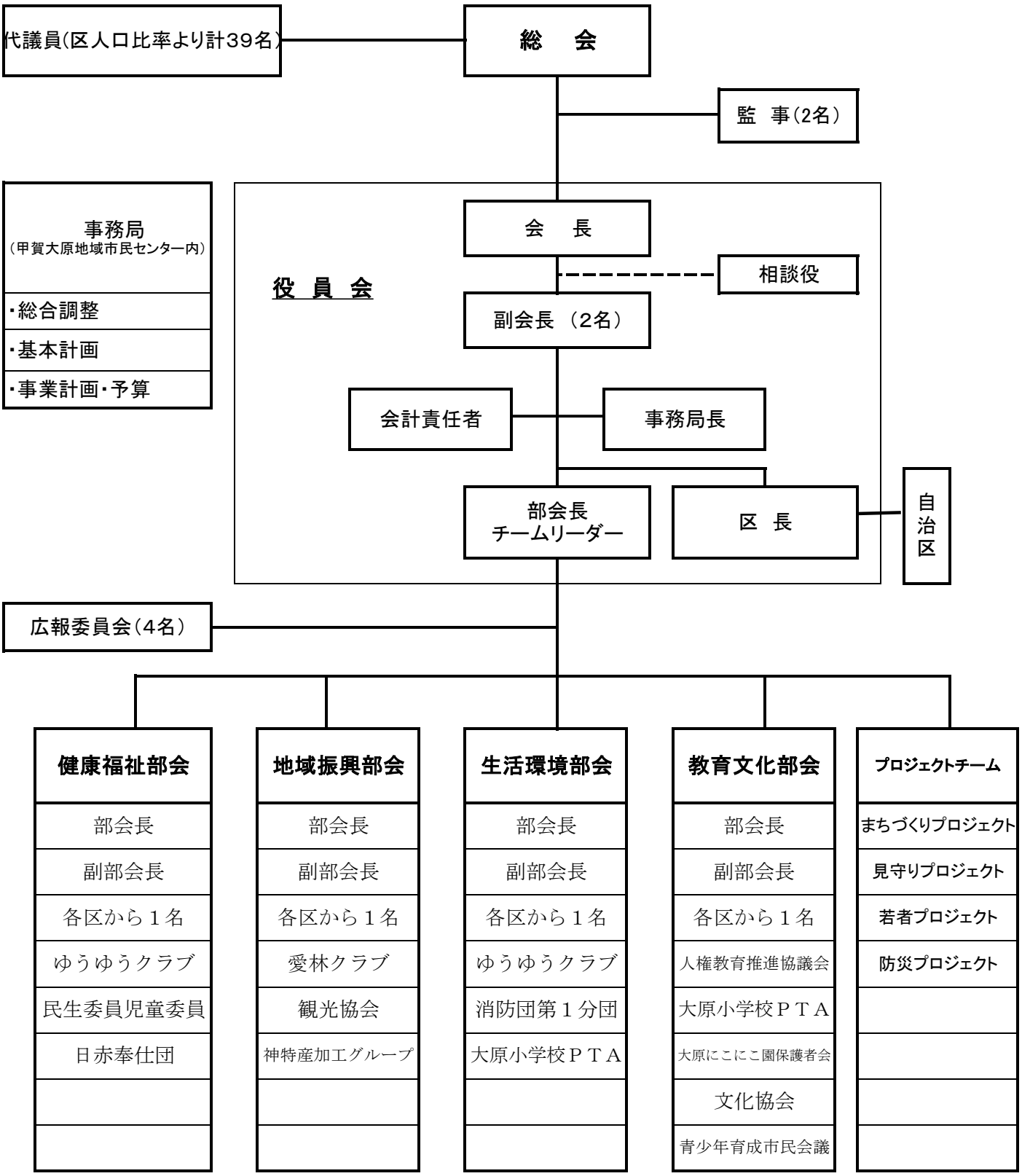
収入の部　　単位:千円

款	項	目	節	本年度予算額	前年度予算額	比　較	説　　明
市交付金				8,033	8,076	△ 43	
	基礎交付金	基礎交付金	基礎交付金	1,572	1,587	△ 15	
	区活動交付金	区活動交付金	区活動交付金	2,484	2,482	2	
	事務加算金	事務加算金	事務加算金	956	956	0	
	事業加算金	事業加算金	事業加算金	3,021	3,051	△ 30	
繰入金				0		0	積立金
繰越金		前年度繰越金	前年度繰越金	653	637	16	
諸収入				31	151	△ 120	
	預金利子	預金利子	預金利子	1	1	0	
	雑入	雑入	雑入	30	150	△ 120	忍者体験、ウォーキング参加費等
収　入　合　計				8,717	8,864	△ 147	

支出の部

款	項	目	節	本年度予算額	前年度予算額	比　較	説　　明
総務費	一般管理費	一般管理費		1,061	1,520	△ 459	
			賃金	650	700	△ 50	事務員賃金
			報償費	0	10	△ 10	
			手当	161	0	161	【新設】本部役員
			旅費	0	300	△ 300	
			需用費	150	300	△ 150	消耗品　会議用飲料
			役務費	80	160	△ 80	あいコウこうか　切手・ハガキ
			工事費	0	0	0	
			備品購入費	20	50	△ 30	PC周辺機器
			積立金	0	0	0	
事業費				3,600	3,275	325	
	一般管理費	一般管理費		900	550	350	
			旅費	10	30	△ 20	研修旅費
			手当	340	0	340	【新設】部員、PJメンバー費用弁償
			需用費	330	250	80	コピー用紙　インク
			役務費	120	100	20	振込手数料　部会案内通知
			備品購入費	100	170	△ 70	
	広報費	広報費		300	350	△ 50	
			需用費	300	350	△ 50	広報誌4回　ちょこっと大原発行
	部会活動事業費	部会活動事業費		1,570	1,755	△ 185	
		健康福祉部会活動費		200	400	△ 200	健康講座　百万歩　サロンスタッフ研修
		地域振興部会活動費		400	430	△ 30	ふるさと再発見　史跡看板　里山・地域整備
		生活環境部会活動費		630	570	60	防犯灯　花いっぱい　飛出し忍者
		教育文化部会活動費		340	355	△ 15	人権研修　自然学習　忍者体験　親子教室
	プロジェクト事業費	プロジェクト事業費		750	540	210	
		まちづくりプロジェクト		100	50	50	協働まちづくり円卓会議　各区意見交換
		見守りプロジェクト		170	140	30	命のバトン　研修会　スマイル甲賀
		若者プロジェクト		300	300	0	婚活　こうかマルシェ
		防災プロジェクト		180	50	130	HUG訓練　講師依頼　防災マニュアル作成
	まちづくり研修	まちづくり研修		80	80	0	
			報償費	50	50	0	講師謝礼
			需用費	30	30	0	会議用飲物他
			使用料及び賃借料	0	0	0	
振興費	区活動振興交付金			1,572	1,587	△ 15	各区へ交付
		敬老会事業交付金	負担金及び交付金	1,210	1,206	4	
		環境整備交付金	負担金及び交付金	362	381	△ 19	
区活動費	区活動事業交付金	区活動事業交付金	負担金及び交付金	2,484	2,482	2	各区へ交付
支　出　合　計				8,717	8,864	△ 147	

大原自治振興会組織図


代議員(区人口比率より計39名)
総　会
監　事(2名)
事務局
(甲賀大原地域市民センター内)
・総合調整
・基本計画
・事業計画・予算
役　員　会
会　長
相談役
副会長（2名）
会計責任者
事務局長
部会長
チームリーダー
区　長
自治区
広報委員会(4名)
健康福祉部会
部会長
副部会長
各区から１名
ゆうゆうクラブ
民生委員児童委員
日赤奉仕団
地域振興部会
部会長
副部会長
各区から１名
愛林クラブ
観光協会
神特産加工グループ
生活環境部会
部会長
副部会長
各区から１名
ゆうゆうクラブ
消防団第１分団
大原小学校ＰＴＡ
教育文化部会
部会長
副部会長
各区から１名
人権教育推進協議会
大原小学校ＰＴＡ
大原にこにこ園保護者会
文化協会
青少年育成市民会議
プロジェクトチーム
まちづくりプロジェクト
見守りプロジェクト
若者プロジェクト
防災プロジェクト

大原自治振興会　まちづくり計画　【概要図】

平成26年3月　作成

○まちづくり計画の期間

☆概ね10年後の大原学区の将来像を想定し、その実現に向け様々な取り組みを行います。

当初計画	【基礎期間】	☆計画見直し（改訂）	【短期】	（3年毎点検見直し）	【中期】	【長期】	次期改訂計画
・平成23.6	・平成24	・平成25	・平成26　・平成27　・平成28	・平成29　・平成30	・平成31	・平成32　・平成33　・平成34	・平成35

平成23年度策定された計画は、3年後に見直すとされており、平成26年から概ね10年先の大原学区の将来像を想定し、実現のため様々な取組みを行います。よりよいまちづくりをめざすため、点検、見直しをしていきます。

○大原学区の将来像

住民一人ひとりが強い結びつきのなかで、
誰もがこれからも住み続けたいと願う
元気で力強い地域社会を目指します

○大原学区の基本方針

◇自治区を越えた大原学区の課題や、各自治区で共通する課題の解決に取り組みます。
◇高齢者の生きがい対策や若年層の地域愛醸成のために、一人ひとりの人権を尊重し、広域的な事業を展開することにより大原学区全体の地域振興を図ります。

☆大原学区はこの基本理念が達成できるよう、取り組むべき内容を次の５ つのテーマ（分野毎）に整理しました。

＜テーマ１＞ 人権福祉分野

大原のひとり一人の人権が尊重され、みんなで支え合う、健康で元気なまちづくり

【分野方針】

1. 人権について正しく理解し、人にやさしく、地域での支え合い を大切にします。
2. 地域のみんなが、いつも健全で 暮らせるよう努めます。

笑いヨガ講習会の様子

＜テーマ２＞ 環　境　分　野

大原の美しい自然を愛し、きれいな環境をつくるまちづくり

【分野方針】

1. 美しい自然を守り育てます。
2. 環境にやさしい暮らしのあり方について考えます。

花いっぱい運動

＜テーマ３＞ 生活基盤分野

大原のだれもが安心して暮らせる、住みよいまちづくり

【分野方針】

1. 防犯・防災について、みんなで 取り組みます。
2. 安心して生活できる環境づくりをめざします。

防犯灯LED交換

＜テーマ４＞ 地域振興（産業）分野

大原の活力が活かされるまちづくり

【分野方針】

1. 隣りの地域と肩組み合って、甲賀の地域の元気づくりを進めます。
2. 地域の歴史文化を再発見し、よき伝統は大切にし、今に活 かします。
3. 地域の産業を見直し誇りをもち、地域の活 力にします。

大原の歴史再発見ウォーク

＜テーマ５＞ 教　育　分　野

大原での学びの機会を大切にし、地域の子どもは地域で育てるまちづくり

【分野方針】

1. 地域住民が生涯学習に取り組む きっかけづくりを行います。
2. 地域の子どもは地域で育てるた め、学校と地域の連携を進めます。

藤木の里山で体験学習

取組部会	健康福祉部会	地域振興部会	生活環境部会	教育文化部

○大原学区の目標

①大原学区内の住民の交流を深め、自治区の連携を創出します
②みんなが参加できる事業を行います
③みんなが安心して暮らせるまちを目指します